

財団法人8020推進財団

平成22年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 歯周病と糖尿病の係わりに関する普及啓発事業

継続事業 (1年目)

2. 申請者名： 社団法人 東京都歯科医師会

会長 浅野 紀元

3. 実施組織： 社団法人 東京都歯科医師会

成人保健医療常任委員会

4. 事業の概要：

8020の実現を目指した健康づくり実践のため、生涯にわたる歯と口腔の健康保持・増進を図る。

特に成人期における歯周疾患の早期発見と、歯周病が引き起こす全身疾患（糖尿病等）へのリスクを広く都民に啓発するとともに、会員および他職種への医療連携のひとつとしての認識の普及啓発も図る。

については、歯周病と糖尿病の関わりについて、まずは、歯科医師への知識の研鑽を図ると共に、東京都医師会の協力を得ながら、多職種を中心とした講師の下、会員診療所の患者や地域住民への周知をおこない、さらに、都民を交えた講演会を実施し、口腔と全身の相互の関係について認知度を高める取組を行う。

5. 事業の内容：

歯周病は様々な全身疾患との関連性が指摘されている中、近年、糖尿病の合併症として歯周病が注目されています。そこで昨年度、東京都8020運動推進特別事業にて取組み作成したリーフレット“お口のケアが全身をまもる—歯周病と糖尿病の不思議な関係—”を活用し、本会の57地区歯科医師会を6ブロック（中央・江東・城西・城南・城北・多摩）に分け、3年間の継続事業として1年間で2地区ごとの講習会をおこない、合わせて「歯周病と糖尿病」に関する意識調査を実施する予定である。なお、講師には医師・歯科医師・管理栄養士と3職種を呼び、それぞれ異なる立場から『歯周病と糖尿病の関係』についての講演をいただいた。

ただし、今年度は江東（足立区歯科医師会）、城南（玉川歯科医師会）、城北（練馬区歯科医師会）での歯科医師向け講習会のみを実施した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

都民向け講習会は最終年度の集大成として行うこととし、今年度は引き続き、歯科医師向けとして実施し、本会の6ブロックすべてで講習会を行い、各地区にて周知出来る環境を整えることを目的とし、また、その中で同時にアンケートを取り、歯科医師が求めている情報、さらには、今後、都民向けとして取り組む際への必要な情報を集めていきたいと考えている。